

避難者と支援者によるふれあいフェスティバル 概要報告

平成 27 年 11 月

広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会

東日本大震災から 4 年半が経ちましたが、避難生活を余儀なくされている方々は全国で約 20 万人（復興庁:H27.10）となっています。そのうち都内に広域避難されている方々は 7,210 名（東京都:H27.10）。広域避難では最も多く避難されているのが東京都となっています。

こうした中、今だからこそ避難者同士のつながり、そして、避難者と支援者のつながりを作る場づくりが求められています。避難者同士のつながりでは、東京では 10 を超える避難当事者団体が各地で立ち上がり、避難先での生活を互いに支えあっていますが、広域での交流の機会は十分とはいえない現状がありました。また、長期の避難生活が想定される中、避難者と支援者との交流も欠かせなくなってきました。

そこで、広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会では、避難者同士の交流、また避難者と支援者の交流を目的として、さまざまな方が一同に会することのできる「避難者と支援者による ふれあいフェスティバル」を下記の通り、実施しました。

日時 2015 年 10 月 24 日（土）10 時 30 分～15 時 30 分

場所 都立木場公園（〒135-0023 東京都江東区平野 4 丁目 6-1）

参加者 462 名（本部で把握できた方のみ）うち、避難者 286 名

※避難者への周知は、各当事者団体を通しての呼びかけとともに東京都都内避難者支援課が実施する「定期便」での発送や各区市町村からの情報提供等により行った。

内容

1 開会式

(1) 実行委員長 挨拶（東雲の会 三澤宏造）

(2) 各首長からのメッセージ

- ・福島県知事 堀内雅雄氏（代読：福島県避難地域復興局避難者支援課課長 松本雅昭氏）
- ・宮城県知事 村井嘉浩氏（代読：宮城県東京事務所次長 山内好尋氏）
- ・岩手県知事 達増拓也氏（代読：岩手県復興局生活再建課相談支援担当課長 木戸口豊武美氏）
- ・江東区長 山崎孝明氏（代読：江東区総務部危機管理室危機管理課長 加川彰氏）

(3) 副実行委員長紹介

2 ステージ出演

ステージでは当事者団体 3 つ、支援団体 2 つ、当事者と支援者で作る団体 1 つの合計 6 つの出演がありました。

No	出演団体名	出演内容
1	岩本薫美子&ニコふれんず	二胡の演奏
2	Music Caravan	ジャズの演奏
3	みちのくまほろば会 ウクレレ・フェローバンド	ウクレレの演奏（2回実施）
4	小藤流分家悠駒の会	日本舞踊
5	浪江町石神第一仮設住宅有志	ふるさと浪江、福島音頭
6	双葉町埼玉自治会 中野三夜子 双葉町埼玉自治会	日本舞踊 双葉音頭

なお、開会式・閉会式含め、ステージの司会は、避難当事者団体であるスノードロップの二瓶和子さん
と広域避難者支援連絡会 in 東京（中央労働金庫）の笹沼佑規が行いました。

3 ブース出展

本イベントでは当事者団体 13、支援団体 19 つ、その他本部など併せて 30 のブース出展があり、
団体紹介や食事の提供、交流スペース、小物作り体験などさまざまな出し物がありました。

※ 1ブースに複数の団体が出展している場合がありますため合計が合わない。

No	出展団体名	出展内容	No	出展団体名	出展内容
1	生活クラブ生協・東京	豚汁の提供	17	宮城県東京事務所	宮城県相談ブース
2	東都生協	お汁粉の提供	18	福島県避難者支援課	ふるさとふくしま相談会
3	コープみらい	フランクフルトの提供	19	みちのくまほろば会	写真展「ふるさとは今」
4	パルシステム東京	おでんの提供	20	江東ボランティアセンター	手芸品販売
5	JC 東京ブロック協議会有志	焼きそばの提供	21	ひよこ足湯隊	健康チェック
6	東京都 都内避難者支援課	都内避難者相談拠点出張相談	22	東雲の会	東雲サロン
7	いわきの12人実行委員会	福島いわき物産展	23	ふんばろう福島プロジェクト	お弁当の配布
8	双葉町埼玉自治会	もち・野菜の販売	24	足立区新田ふるさと会	玉こんにゃく販売/わらじ作り
9	鷺ノ宮都営住宅自治会	ハンドマッサージ	25	コスモス会/いたばし総合ボランティアセンター	ミニ傘作り/綿菓子の販売
10	青空会	手作りアクセサリ等の販売	26	NPO 法人とみおか子ども未来ネットワーク	富岡町情報発信ブース
11	東北の絆 サロン FMI 会	ディンプルアートの体験	27	町屋6丁目ミニサロン/荒川ボランティアセンター	おたのしみ福引会
12	人の輪ネット/スノードロップ/東京足湯プロジェクト	リラックス café/アクセサリ等の販売/足湯の提供	28	むさしのスマイル	Smile カフェ
13	災害復興まちづくり支援機構	防災なんでも相談会	29	金光教	子どもコーナー
14	フォトボイスプロジェクト	フォトボイス展示	30	東京労働者福祉協議会	ふれあいテント
15	関係者用テント				
16	本部テント	参加者受付等			

4 送迎バス

避難者の方に足を運んでもらいやすいように都内外から送迎バスを出しました。

No	ルート名	ルート
1	浪江町石神第一仮設住宅ルート	福島県本宮市 ⇄ 木場公園
2	埼玉県加須ルート	埼玉県加須市 ⇄ 木場公園
3	西東京ルート	西東京市 ⇄ 木場公園
4	町田ルート	町田市 ⇄ 木場公園
5	東雲ルート	江東区東雲住宅前 ⇄ 木場公園
6	東大島ルート	江東区東大島駅 ⇄ 木場公園
7	荒川ルート	荒川区町屋 6 丁目都営住宅前 ⇄ 木場公園
8	中野・新宿ルート	中野区鷺ノ宮都営住宅前 ⇄ 新宿区百人町都営住宅前 ⇄ 木場公園
9	板橋・練馬・足立ルート	板橋区成増団地前 ⇄ 足立区新田 ⇄ 足立区西新井 ⇄ 木場公園
10	三鷹ルート	三鷹駅前 ⇄ 木場公園

※浪江町石神第一仮設住宅コースと埼玉県加須コースについては、ふんばろうふくしまプロジェクトの協力で送迎バスを運行することができました。

主 催 広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会

(実行委員メンバー) 青空会、足立区新田ふるさと会、コスモス会、鷺ノ宮都営住宅自治会、東雲の会、東北の絆 サロン FMI 会、NPO 法人とみおか子ども未来ネットワーク、人の輪ネット、福島県被災者同行会、町屋 6 丁目ミニサロン、みちのくまほろば会、むさしのスマイル、かながわ東北ふるさと・つなぐ会、広域避難者支援連絡会 in 東京

(広域避難者支援連絡会 in 東京 参加団体) 荒川区社会福祉協議会、いたばし総合ボランティアセンター、さわやか福祉財団、災害復興まちづくり支援機構、全労済、中央労働金庫、東京足湯プロジェクト、東京災害ボランティアネットワーク、東京都生活協同組合連合会、東京ボランティア・市民活動センター、東京労働者福祉協議会、連合東京

後 援 福島県、宮城県、岩手県、東京都、江東区

協 力 東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) / 株式会社セレスポ/セカンドハーベスト・ジャパン / 双葉町復興支援員 (ふたさば) / NPO 法人 かながわ避難者と共にあゆむ会 / 埼玉県労働者福祉協議会 / 所沢市福祉部福祉総務課 / 入間市福祉部生活福祉課 / 狭山市子ども福祉部福祉課 / 和光市社会福祉協議会 / 江戸川区生活振興部地域振興課 / 練馬区危機管理室 防災課 / 中野区経営室 / 板橋区政策経営部広聴広報課 / 荒川区総務企画部広報課 / 日野市総務部防災安全課 / 東京 YMCA / 東京 YWCA / 立川・東日本大震災避難者を支援する会 / 東京都医療社会事業協会 / 東京ハンディキャップ連絡会 / 東京新聞社会事業団 / 連合東京ボランティアサポートセンター / 東京都社会福祉協議会 / 新宿区社会福祉協議会 / 文京区社会福祉協議会 / 墨田区社会福祉協議会 / 江東区社会福祉協議会 / 葛飾区社会福祉協議会 / 足立区社会福祉協議会 / えどがわボランティアセンター / 練馬区社会福祉協議会 / 西東京市社会福祉協議会 / 町田市社会福祉協議会 / 狛江市社会福祉協議会 / 調布市社会福祉協議会 / 府中市社会福祉協議会 / 小金井市社会福祉協議会 / 三鷹市社会福祉協議会 / 日野市社会福祉協議会 / その他 多くの皆さま

※本事業はタケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラム、東京都共同募金会、真如苑「Shinjo プロジェクト」

の助成金、また、中央労働金庫、全労済、金光教の支援金を受け実施しました。





ふれあいフェスティバル開会式 実行委員長（東雲の会 三澤宏造）の挨拶。その後、福島県、宮城県、岩手県、江東区の首長からメッセージを頂きました（担当者による代読）。



当日の司会は避難当事者団体「スノードロップ」代表の二瓶和子さんと広域避難者支援連絡会 in 東京の笹沼佑規（中央労働金庫）の二人が務めました。



東京だけでなく、神奈川や埼玉からも多くの参加がありました。参加者は462人、うち避難者286人となりました（本部で把握できた方のみ）。



ステージでは避難当事者団体や支援団体による音楽や踊りなどが披露されました。



当日は13の当事者団体19の支援団体がブース出展を行いました。（写真はフランクフルトの提供を行うパルシステム東京のブース）



当事者団体と支援団体が一緒にブースを設置するところも幾つか見られました。（写真は町屋6丁目ミニサロンと荒川ボランティアセンターによるお楽しみ福引会のブース）



ふれあいテントは多くの避難者と支援者が交流するスペースになりました。支援団体からお茶やお菓子の提供がありました。



色々なモノづくりの体験ができるブースもありました。(写真は、東北の絆サロン FMI 会によるディンプルアート体験のブース)



避難元の状況をパネルや写真、情報誌等で伝えるブースも出展しました(写真は NPO 法人とみおか子ども未来ネットワークのブース)。



埼玉からは、双葉町埼玉自治会の方がブース出展し、おもちや野菜の販売を行いました。都県域を超えた貴重な交流の機会となりました。



福島県や宮城県、東京都による避難生活に関する相談ブースも設置され、参加者が担当者に今後の支援策等についての相談が行われました。



ステージ企画では出演者だけでなく参加者の皆さんと一緒に避難元の音頭を踊りました。